

平成28年度

## 近畿老人福祉施設研究協議会 京都大会 開催要項

### 1. 大会テーマ

『2025年へ向けて 高齢者福祉・介護のあり方を考える』

～ 社会福祉の原点と利用者本位の精神を基本として ～

### 2. 趣 旨

2025年には団塊の世代が後期高齢者になることにより、高齢化率は30%を超え、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となることを見込まれています。

こうしたなかで、急激な単身高齢者世帯や認知症高齢者の増加、一方でその人達を支える介護人材不足など、高齢者福祉・介護は多くの課題に直面しており、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目標とする地域包括ケアシステムの一層の充実が求められています。

また、社会福祉法人制度が大きく変わろうとしています。私たち社会福祉法人は、今こそ社会福祉の原点に立ち返るとともに、利用者本位の精神を基本として、質の高いサービスを提供し続ける必要があります。

さらに、それぞれの地域の実情などを十分に踏まえたうえで地域公益活動などにも取り組み、2025年の超高齢社会に備えるために着実な準備を進め、地域の関係機関・団体と協働しながら、将来を見据えた取り組みを展開していくことが求められています。

こうしたなかで、私達は今後どのように取り組んでいくべきか、日々の実践や研究の成果を持ち寄り、共に考えたいと思います。

### 3. 期 日

平成28年7月20日（水）～21日（木）

### 4. 主 催

近畿老人福祉施設協議会

一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会

一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会

### 5. 後 援（予定）

京都府

京都市

公益社団法人全国老人福祉施設協議会

社会福祉法人京都府社会福祉協議会

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

### 6. 参加費

お一人様 10,000円

※全国老人福祉施設協議会感謝状受賞者並びに2日目分科会における実践発表者についても、参加費を徴収いたしますのでご了承ください。

## 7. 参加定員 1, 400名

## 8. 参加対象

近畿老人福祉施設協議会会員の老人福祉施設関係者、老人福祉行政関係者、保健医療機関関係者、各府県ならびに市町村社会福祉協議会関係者、介護人材養成学校等その他この研究協議会の趣旨に賛同し、参加を希望する者

## 9. 会場

1日目 全体会 ロームシアター京都 メインホール (〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13)

※平成28年1月 リニューアルオープン (旧 京都会館)

2日目 分科会 みやこめっせ (〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1)

## 10. プログラム

### 1日目 (全体会) ロームシアター京都 メインホール

12:00	受付開始
12:45	オープニングセレモニー 「弦楽四重奏」(予定) 京都市交響楽団
13:00	開会 式典(全国老人福祉施設協議会感謝状授与式)
13:35	情勢報告(30分) 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長(予定)
14:05	講演①(90分) 「生きているってすばらしい～命・絆・仕事・生きがいを考える～」 講師 鎌田 實 氏(医師/諏訪中央病院名誉院長/日本チェルノブイリ連帯基金理事長)
15:35	休憩(25分)
16:00	講演②(90分) 「人と動物が共に幸せに暮らせる社会を目指して」 講師 杉本 彩 氏(女優/公益財団法人 動物環境・福祉協会 Eva 理事長)
17:30	1日目終了・チェックイン

### 1日目(懇親会) 京都ホテルオークラ「暁雲の間」

18:00	受付開始
18:30	開会 京都らしいアトラクションにご期待ください!!
20:30	閉会

2日目(分科会) ※2日目分科会は、事前に各テーマに沿って募集した実践発表を実施します。実践発表終了後コメンテーターよりアドバイスをいただきます。

8 : 3 0	受付開始	
8 : 5 0	オリエンテーション	
9 : 0 0	第1分科会	<p>テーマ：『 個別ケアへの取り組み 』</p> <p>コメンテーター：同志社大学社会学部社会福祉学科 教授 空閑 浩人 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>施設・在宅等、多くのサービスがご利用者の個別性を踏まえ、生きがいやサービスの質の向上に向けた取り組みを進めています。利用者の尊厳を保持し、生き生きとしたその人らしい生活を保障するため、個別ケアはいかにあるべきかなどについて考えます。</p>
	第2分科会	<p>テーマ：『 施設における医療ニーズへの対応 』</p> <p>コメンテーター：山城ぬくもりの里 総合施設長 松下 智子 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>平成27年度の介護保険制度改正により、特養への入所者は原則として要介護3以上とする重点化が行われたことにより、医療ニーズの高い利用者が増えるとともに、施設での看取りを希望される利用者、家族も増えていくことが予想されます。こうしたニーズに応えていくために重要なポイントや今後の課題などについて考えます。</p>
	第3分科会	<p>テーマ：『 チームケア推進のために 』</p> <p>コメンテーター：四天王寺大学短期大学部 教授 笠原 幸子 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>より質の高いサービスを提供するとともに対象者のQOLを高めるため、そして認知症の人への生活支援のためなどに、チームケアや多職種協働の取り組みが求められており、各施設においても様々な実践が行われています。そうした取り組みを持ち寄り、今後のあるべき姿を共に考えます。</p>
	第4分科会	<p>テーマ：『 食事ケア 』</p> <p>コメンテーター：特養松寿園 管理栄養士 梅垣 佳津枝 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>加齢に伴い、摂食・嚥下に関する機能などが低下すると、口から食べることが難しくなります。しかし、口から食べてこそ、生きる喜びや楽しさなどを実感できます。栄養や食事の工夫、成功の事例、症状や状態に合わせた支援の方法について学んでいきます。</p>
	第5分科会	<p>テーマ：『 住み慣れた地域での生活を支える在宅サービス 』</p> <p>コメンテーター：日本大学文理学部心理学科 教授 内藤 佳津雄 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>中重度の要介護状態となっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるためには、24時間切れ目のないサービスによる総合的な支援が必要であり、実践事例を持ち寄るなかで、現状の課題と今後のあり方を共に考えます。</p>

第6分科会	<p>テーマ：『 養護・軽費（ケアハウス）における取り組み 』</p> <p>コメンテーター：関西福祉大学 社会福祉学部 教授 谷口 泰司 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>利用者の自立支援に向けての実践や地域で安心して暮らすための工夫、重度化への対応などの取り組みから、養護・軽費・ケアハウスが果たす役割と課題や今後の方向性等を考えます。</p>
第7分科会	<p>テーマ：『 人材確保・定着・育成の取り組み 』</p> <p>コメンテーター：有限会社レイズ 取締役 増田 知乃 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>介護現場での慢性的な人材不足という現状のなか、各法人・施設での人材確保や定着に向けての取り組みや魅力的なキャリアパスを活かした効果的な人事考課制度の構築など、現状の課題や今後に向けての取り組みについて学び考えます。</p>
第8分科会	<p>テーマ：『 「新たな地域づくりのしくみ」新しい地域支援事業への取り組みの在り方 』</p> <p>コメンテーター：前 厚生労働省 課長補佐 服部 真治 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>平成27年度の介護保険制度改正により地域支援事業に移行されることとなった「介護予防・日常生活支援総合事業」や「包括的支援事業」について先進的な取り組みや課題について学び、新しい地域支援事業について考えます。</p>
第9分科会	<p>テーマ：『 地域包括ケアシステムの構築のために 』</p> <p>コメンテーター：地域密着型総合ケアセンターきたおおじ 代表 山田 尋志 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮し続けるため、地域包括ケアシステムの構築が大きな課題となっています。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の活動内容の現状や困難事例、地域組織の取り組みなどから課題を整理し、2025年に向けて医療・地域組織等との連携のあり方等の今後の取り組みなどについて考えます。</p>
第10分科会	<p>テーマ：『 社会福祉法人改革と今後の社会福祉法人のあり方 』</p> <p>コメンテーター：社会福祉法人慈愛会 常務理事 平田 直之 氏</p> <p>趣 旨：</p> <p>国が進める社会福祉法人改革により、経営管理組織の見直し、透明性の確保などととも、地域における公益的な取り組みが責務とされ、地域公益事業が義務化されようとしています。地域の高齢者の生活を支え、地域から信頼される社会福祉法人となるために、今後の社会福祉法人に求められるもの、そのあり方について考えます。</p>
12:20	2日目終了 なお、分科会により若干終了時間に違いが生じますがご了承願います。

## 1 1. 2日目分科会実践発表について

- ① 参加者は、必ず申込用紙に希望の分科会番号を第2希望まで記入してください。  
※各会場の定員を超過した場合は、第2希望を受講いただくこともありますのでご了承ください。
- ② 実践発表は、1事業所につき発表15分、質疑応答・コメント5分あわせて20分で実施します。
- ③ 全ての実践発表終了後、コメンテーターから問題点や課題等に関し総括コメントを行って頂きます。
- ④ 各分科会場にて受付を終了したのちは、各会場の出入りを自由とします。

## 1 2. 懇親会について

- ① 大会第1日目7月20日（水）の18時30分から、京都ホテルオークラ4階「暁雲の間」で開催いたします。ご参加いただくためには、申込みと参加費 10,000 円の払い込みが必要です。詳細につきましては、別紙の「参加・宿泊等のご案内」をご確認ください。
- ② アトラクションにつきましては、ゆあさまさや（京都市在住のアコースティックソロギタリスト）さんなどにご出演いただきます。

## 1 3. 参加・宿泊等の申し込み

参加の申し込みについては、別紙の「参加・宿泊等のご案内」をご確認ください。

- ① 参加の希望者は、申込書に必要事項をご記入の上、**6月24日（金）**までに直接、名鉄観光サービス株式会社京都支店にお申し込みください。  
また、宿泊のお申し込みに関し、締め切りを6月10日（金）までとさせていただきます。  
宿泊をご希望の方はお早めにお申し込みください。
- ② 申し込みいただいた方には、**6月30日（木）頃**までに大会参加券とあわせて請求書、振込み用紙を名鉄観光サービス株式会社より直接送付いたします。内容をご確認のうえ指定口座へ参加費等を**7月6日（水）**までにお振込みください。
- ③ 各分科会への参加は自由となっておりますが、会場準備の都合で分科会番号を第1・第2希望までご記入ください。  
※ 各分科会場にて受付を済ませられた後は、分科会会場は出入り自由となります。
- ④ 参加費については、**7月6日（水）以降にお取消された場合、ご返金はいたしません。**  
但し、不参加で資料をご希望される方は、研究協議会終了後に大会参加券を添えて名鉄観光サービス株式会社にお申し込みいただければ、資料を送付いたします。  
宿泊費・懇親会費につきましては、名鉄観光サービス株式会社の内規に従い、所定のキャンセル料・振込手数料を差し引いた上で研究協議会終了後、ご返金いたします。

## 1 4. お問い合わせ先

### 大会の内容に関するお問い合わせ

近畿老人福祉施設研究協議会（京都大会）実行委員会事務局  
（一社）京都市老人福祉施設協議会（担当：堀池・内田）  
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上の口上る梅湊町 83-1  
ひと・まち交流館京都 4階  
TEL：075-354-8743 / FAX：075-343-6270  
Email: jimukyoku@kyoto-shiroukyo.jp

### 申込み・宿泊等に関するお問い合わせ

株式会社 名鉄観光サービス 京都支店（担当：仲・國方）  
〒600-8492 京都市下京区四條通新町東入月鉾町 62 住友生命京都ビル 6F  
TEL：075-255-2211 / FAX：075-255-8511